

 JWRC 水道ホットニュース	<p>(公財)水道技術研究センター 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F TEL 03-3597-0214, FAX 03-3597-0215 E-mail jwrchot@jwrc-net.or.jp URL http://www.jwrc-net.or.jp</p>
---	--

米国フリント市の水道インフラ改善のために —米国環境保護庁がミシガン州に1億米ドルを供与—

(はじめに)

米国ミシガン州フリント市では、水道水の高濃度鉛汚染が深刻な問題となっており、このことについては、これまでも水道ホットニュースで紹介したところです。

(参考1) 平成28年1月25日付け水道ホットニュース号外「米国ミシガン州フリント市における水道水の高濃度鉛汚染問題について (速報)」

http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/pdf/HotNews_gogai_280125.pdf

(参考2) 平成28年12月9日付け水道ホットニュース第542-2号「鉛・銅規則改正白書 (USEPA) について」

<http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/pdf/HotNews542-2.pdf>

その後、フリント市の水道水に関する事態改善のために種々の取り組みが行われてきているところです。

そして、本年3月17日、米国環境保護庁本部から、米国環境保護庁はフリント市の水道インフラ改善のためにミシガン州に対して1億米ドルを供与する旨のニュースリリースがなされました。

そこで、以下にその概要を紹介することとします。なお、翻訳に間違い等がありましたらご容赦いただくとともに、出典を確認していただくようお願いします。

(出典) News Releases from Headquarters

EPA Awards \$100 Million to Michigan for Flint Water Infrastructure Upgrades

03/17/2017

<https://www.epa.gov/newsreleases/epa-awards-100-million-michigan-flint-water-infrastructure-upgrades>

環境保護庁本部からのニュースリリース（2017年3月17日）

フリント市の水道インフラ改善のため、環境保護庁がミシガン州に1億米ドルを供与

ワシントン発—米国環境保護庁（USEPA）は本日、ミシガン州フリント市の水道インフラ改善の資金を提供するため、ミシガン州環境局に1億米ドルの助成金を供与した。この財政支援は、「2016年水インフラ改善法（WIIN：Water Infrastructure Improvements for the Nation Act of 2016）」によるものであり、鉛製給水管の布設替えや他の重要インフラ改善を行うための取組みをフリント市が加速・拡大することを可能とするものである。

環境保護庁長官のスコット・プルイット氏は、「連邦政府は、フリント市の人々及びアメリカの国民に対してより迅速に対応することが求められている。」「環境保護庁は、アメリカの水インフラ改善という大きな目標の一つとして、特にフリント市の水道インフラ改善のためにミシガン州を支援することに重点を置くこととしている。」と述べた。

ミシガン州知事のリック・スナイダー氏は、「フリント市のインフラ復旧を支援するため、環境保護庁がこの財政支援を承認したことに感謝している。」「既に配分された約2億5,000万米ドルの財政支援と合わせ、今回の措置によって、フリント市は着実に取組みを進めることができる。フリント市民のために、連邦、州及び地域の関係機関がインフラ改善及び鉛管布設替えに協働し続けていることは素晴らしい。」と述べた。

フリント市長のカレン・ウィーバー氏は、「我々は、このような多額の資金の供与について興奮するとともに非常に感謝している。」「このような大変困難な時期にこの規模の助成金がフリント市に対して供与されることは、大変役に立つものである。我々はFAST Start 鉛製給水管布設替えプログラム（FAST Start pipe replacement program）の次のステージの開始準備中であるので、これらの資金は本年中に6,000本の鉛管布設替えを行うという我々の目標を達成するとともに、必要とされる他のインフラ改善を行うために必要なものである。我々は、環境保護庁及び連邦政府の継続的な支援を期待している。」と述べた。

2016年水インフラ改善法（WIIN）による財政支援は、連邦政府と州のパートナーシップのもとでの環境保護庁の州政府水道整備基金（Drinking Water State Revolving Fund）を補完するものである。本日発表された連邦政府の資金に加えて、ミシガン州は州が負担すべき20%相当の2千万米ドルを提供することとしている。長年にわたり、環境保護庁は、州政府水道整備基金を通じてインフラ改善のために325億米ドルを超える額を各州に対して供与している。

トランプ大統領のもとでの予算案では州政府水道整備基金に対しては十分な資金が確保されており、予算案によれば、重要な上下水道インフラに対する資金調達のため、「水インフラ資金調達改革法（WIFIA：Water Infrastructure Finance and Innovation Act）」に基づくプログラムに対して確固たる財政支援を行うこととしている。

(参考1) 2016年水インフラ改善法 (Water Infrastructure Improvements for the Nation (WIIN) Act)

http://transportation.house.gov/uploadedfiles/wiin_act.pdf

(参考2) Fast Start : Lead Service Line Replacement Program

<http://media.graytvinc.com/documents/Fast+Start+Pipe+Replacement.pdf>

(参考3) 州政府水道整備基金 (Drinking Water State Revolving Fund)

<https://www.epa.gov/drinkingwatersrf/how-drinking-water-state-revolving-fund-works#tab-3>

(参考4) 水インフラ資金調達改革法 (Water Infrastructure Finance and Innovation Act (WIFIA))

<https://www.epa.gov/wifia>

(文責) 専務理事

安藤 茂

調査事業部主任研究員 松永 隆宏

配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までE-メールにてご連絡をお願いいたします。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F (公財)水道技術研究センター ホットニュース担当

E-MAIL : jwrchot@jwrc-net.or.jp

TEL 03-3597-0214 FAX 03-3597-0215

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー（第58号以降）は、下記アドレスでご覧になれます。

バックナンバー一覧 <http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/hotnews-h28.html>

水道ホットニュースの引用・転載について

水道ホットニュースの引用・転載等を希望される方は、上記ホットニュース担当までご連絡をお願いいたします。

なお、個別の企業・商品・技術等の広告にはご利用いただけません。